日程 2026年12月20日㊐～
2027年3月22日㊐㊡（全16回）

場所 世田谷パブリックシアター稽古場
＋シアタートラム

進行役 柏木陽／FUNI

ラップって難しそうッ

地域の物語2027

『ラップとお金と生活と。』をめぐる演劇ワークショップ

参加者募集！

高校生でもいい？

日々の生活、大変だよね…

金ならない!!
ないという事が無い!!

こんな社会じゃやってらんねー！

車椅子から見える景色をラップしたい！

世田谷パブリックシアター

「地域の物語」は、世田谷パブリックシアターが開場して以来継続しているプロジェクトです。
ワークショップを通して、従来の形にとらわれない演劇をつくり、シアタートラムで発表します。
今回は、『ラップとお金と生活と。』をテーマに、参加者を募集します。
日々の生活の中で感じる、ささやかなモヤモヤ、苛立ち、普段言えないけど誰かに言いたいことなどを、ラップや演劇にしてみんなで考えます。
ラップや演劇経験がなくても、劇場に来たことがなくても、大歓迎。
ぜひご参加ください。

日程　2026年12月20日(日)〜2027年3月22日(月)(祝)（全15回）

① 12月20日(日)	13時〜17時	⑩ 2月28日(日)	13時〜17時
② 12月26日(土)	13時〜17時	⑪ 3月7日(日)	13時〜17時
③ 1月9日(土)	13時〜17時	⑫ 3月13日(土)	13時〜17時
④ 1月24日(日)	13時〜17時	⑬ 3月14日(日)	13時〜17時
⑤ 1月30日(土)	13時〜17時	⑭ 3月20日(土)	リハーサル1※
⑥ 1月31日(日)	13時〜17時	⑮ 3月21日(日)(祝)	リハーサル2※
⑦ 2月14日(日)	13時〜17時	※リハーサル1・2の詳細な時間は、ワークショップ中にお知らせします。1日空けておいてください。	
⑧ 2月20日(土)	13時〜17時	★3月22日(月)(休)	シアタートラムで発表会
⑨ 2月27日(土)	13時〜17時		

場所　世田谷パブリックシアター稽古場＋シアタートラム

参加費　15,000円※参加費のお支払いが難しい場合はご相談ください。

対象　どなたでも　　**定員**　15名程度

締切　2026年11月25日(水)必着
※参加者多数の場合は、申込締切日以降に抽選となります。
※定員に達しない場合は締め切り後も受け付けます。

申込み方法

お願い事項①②を確認の上、ご了承いただけた方は以下をご記入の上、郵送、またはファックス(03-5432-1559)、または申込みフォームよりお申込みください。
❶氏名（ふりがな）　❷住所　❸電話番号　❹メールアドレス　❺職業　❻年齢
❼ワークショップへの参加理由と、テーマ『ラップとお金と生活と。』について思うことを教えてください。（200字程度）　❽ひとこと

【お願い事項】
◆お申込み時にお預かりした個人情報は（公財）せたがや文化財団個人情報保護規定により管理いたします。
◆WS中に取材が入る場合や広報物・出版物・講演・展示等で使用する写真や動画の撮影をする場合があります。
◆WS中のご見学はご遠慮いただいております。
◆WS中の写真・動画の撮影および録音はご遠慮ください。
◆WS中にけがをされた際、主催者側に過失のある場合は加入している保険の範囲内で補償いたします。
◆他の参加者への迷惑行為などがあった場合はご退出いただく場合があります。

フォームからのお申し込みはこちら▼

お問合せ＆お申込み先

世田谷パブリックシアター学芸「地域の物語2026」係
〒154-0004
東京都世田谷区太子堂4-1-1　キャロットタワー5階
電話：03-5432-1526／ファックス：03-5432-1559

[主催] 公益財団法人せたがや文化財団
[企画制作] 世田谷パブリックシアター
[後援] 世田谷区

進行役からのメッセージ

柏木陽（NPO法人演劇百貨店）

今回の地域の物語はラップです。ラップもしますが演劇もします。皆さんの生活のあれこれを聞かせてもらいたいと思っています。

普段私は知的障害の方と演劇を作ったり、中学生や高校生と演劇を作ったりしています。高校生たちは大変です。私が関わっている高校の生徒たちは、外国にルーツを持っている子がいたり、ひとり親家庭の子がいたりします。家庭の収入の状態なんかも大変な人たちが多いです。街にヘイトスピーチが溢れていたりスーパーやコンビニの商品が高かったり毎日がサバイバルです。ラップってアメリカの黒人の人たちのサバイバルの一つだったんだろうなと思います。私たちも毎日をサバイバルしているのかなと思います。

生活ってそんな感じだったかなあと思います。もっと夢見たりもっと期待があったりしなかったかなとか思います。でも、昔だって私が知らないサバイバルがあったんだろうなとも想像しています。そんな生活をいっぱい教えてください。

FUNI（ラッパー）

「愛はコンビニでも買えるけれど もう少し探そうよ」とスピッツが歌っていた

そういえば、水っていつから買うようになったんだろう?
昔はサッカーボールひとつあれば、そこにいるみんなでサッカーができた
今は「個サル」に登録して、お金を払ってサッカーをする
昔はただだったものに、どんどん値段がついていく
醤油や味噌だって、昔は近所で貸し借りしていたらしい

生活って、誰かにルールや値段を決めてもらうものなんだろうか?
誰かがつくったコンテンツを消費するだけじゃなくて、自分たちがよりよくサバイバルするために、助け合ったり、分け合ったり、つくったりすることもできるんじゃないか

あ、そういえば「言葉」はタダだ
だったら、言葉を持ち寄って、ビートに乗ってみよう
ビートにフリーライド!
アートに限界はないよ!
ハートの健康も大切なのよ!

場所：世田谷パブリックシアター稽古場

